

# ～一包化(いっぽうか)ってなあに?～



一包化とは薬局で調剤の時、服用時期が同じ薬を機械でまとめて一つの袋に入れることです。

一回に飲まないといけない薬が一袋にまとめて入っているので、いくつもの薬を一つずつ取り出す

手間がはぶけ、飲み間違いや飲み忘れも防ぐことができます。

薬の種類が多い方、飲む数がバラバラでややこしい方など、ぜひご相談下さい。

## 一包化の良いところ

- ・薬を台紙から取り出さなくて良く、袋をやぶるだけで一回分の薬が取り出せます。
- ・飲み間違いや紛失のリスクも減らすことができます。
- ・頓服の薬は、薬の入った袋にこういった症状の時に飲むのか印字されます。
- ・調剤した日も書かれているので、いつもらった薬かすぐに分かります。



## 一包化の悪いところ

- ・薬がひとまとめに入っているので、どれがどの薬か分かりにくい。
- ・一包化にするのに少し時間がかかります。  
\*機械で袋に入れた後、薬剤師の目で一つずつ全ての薬が入っているか確認しているので、いつもより待ち時間が増えてしまいます。

処方箋を FAX していた  
だけだと時間の短縮にも  
なりません。

また、一包化には料金が発生するため、少し負担金が高くなることもあります。(2週間当たり1割負担で約60円、4週間分で約120円)



文責：薬剤師 福井美穂